

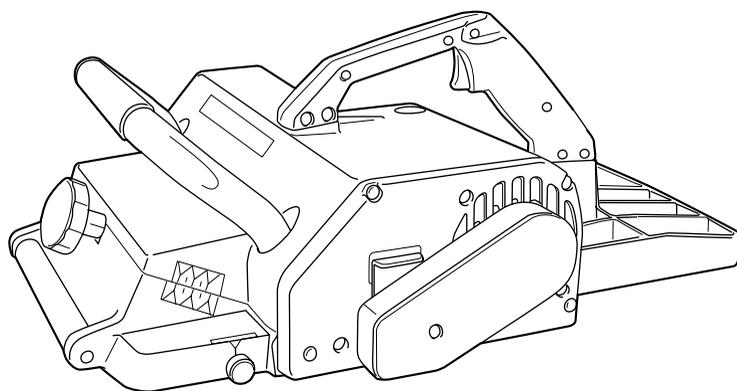
# RYOBI®

## 電気カンナ

### L-1000TB

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。  
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



#### もくじ

- ・安全上のご注意 ..... 1 ~ 6
- ・各部の名称 ..... 6
- ・仕様、付属品、別販売品、用途 ..... 7
- ・操作方法 ..... 7 ~ 12
- ・電気カンナの使い方 ..... 12 ~ 13
- ・カンナ刃（並刃）について ..... 14
- ・保守と点検 ..... 14 ~ 15

このたびは、リョービ電気カンナをお買上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本体の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「（注）」で表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

## 安全上のご注意

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### △ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
  - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

- 3 . 感電に注意してください。
  - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- 4 . 子供を近づけないでください。
  - ・ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- 5 . 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- 6 . 無理して使用しないでください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- 7 . 作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 8 . きちんとした服装で作業してください。
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
- 9 . 保護めがねを使用してください。
  - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- 10 . コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
  - ・ コードを熱、油、角のどがった所に近づけないでください。
- 11 . 加工する物をしっかりと固定してください。
  - ・ 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

## △ 警 告

- 1 2 . 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
- 1 3 . 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
- 1 4 . 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
  - ・使用しない、または修理する場合。
  - ・刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
  - ・その他危険が予想される場合。
- 1 5 . 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
  - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
- 1 6 . 不意な始動は避けてください。
  - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
  - ・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 1 7 . 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- 1 8 . 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
  - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
  - ・常識を働かせてください。
  - ・疲れている場合は、使用しないでください。

1 9 . 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
- ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

2 0 . 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

2 1 . 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

### 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

## 電気カンナご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、電気カンナをご使用の際は、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

### △ 警 告

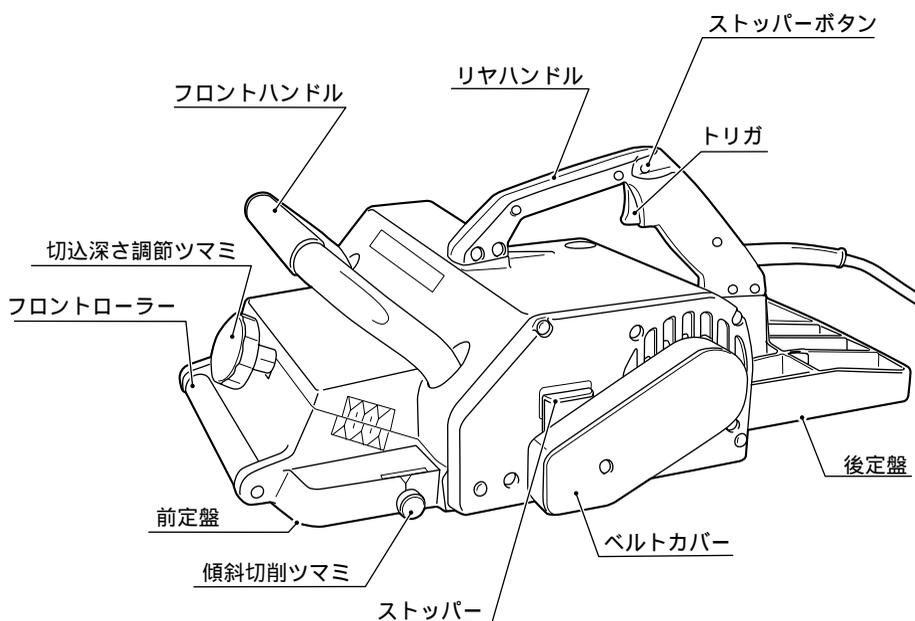
1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用中は、本体を確実に保持してください。
  - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
  - ・台が不安定ですと、けがの原因になります。
4. 材料を手にとっての切削はしないでください。カンナ刃に触れけがの原因になります。
5. 本体を万力などで保持して、カンナ刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。
  - ・カンナ刃に手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。
6. カンナ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - ・確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
7. 使用中は、切粉排出口に指などをいれないでください。
  - ・回転しているカンナ刃に触れ、けがの原因になります。
8. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、または、リョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
  - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
9. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
  - ・アース線のない2芯のコードですと、感電の原因になります。

### △ 注 意

1. カンナ刃の取扱いは、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
  - ・不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
2. 使用中は、本体の底面に手など身体を近づけないでください。
  - ・カンナ刃に触れ、けがの原因になります。

3. ベルトカバーの底面は、ベルトが覆われていないので、使用中、手などを近づけないでください。
  - ・ ベルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
4. スイッチを切った後も、惰性で回転しているカンナ刃に注意してください。
  - ・ 手などが触れると、けがの原因になります。
5. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - ・ けがの原因になります。

## 各部の名称



## 仕様

- ・電源・・・单相・交流100V 50/60HZ
- ・電流・・・15A
- ・消費電力・・・1,450W
- ・無負荷回転数・・・13,000回/分
- ・切削幅・・・312mm
- ・切込深さ・・・0~2mm
- ・機体寸法・・・(タテ×ヨコ×高さ)528×376×194mm
- ・本体重量・・・13kg

## 通常付属品

- ・ボックススパナ
- ・定規
- ・刃先調節ゲージ

## 別販売品

- ・カンナ刃(並刃)

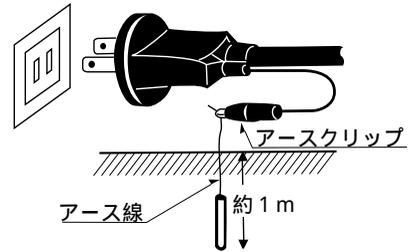
## 用途

- ・木材の平削り、傾斜切削

## 操作方法

### アースについて

- ・感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地(アース)してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- ・アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと機体の金属部(外部)間の導通を確認してください。
- ・アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。

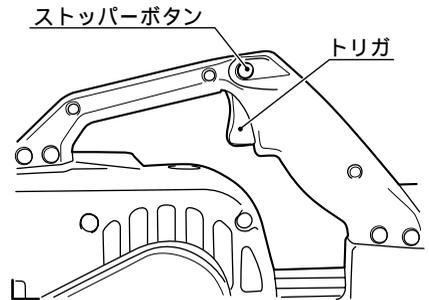


## スイッチの扱い方

### △ 警 告

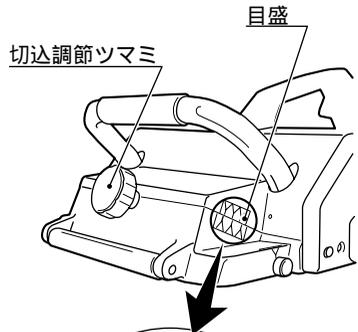
- ・ プラグをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。また、プラグを電源につないだ状態で、トリガに指をかけて運ばないでください。不意な始動によりけがをする原因になります。
- ・ 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- ・ スイッチを入れる前に近くに人がいないことを確認し、本体をしっかり持ってください。また、切粉排出口に指などを入れないでください。回転しているカンナ刃に触れ、けがの原因になります。

- ・ スイッチ操作は、トリガを引くとスイッチが入り、離すと切れます。またトリガを引いた状態で握り部のストッパーボタンを押すとトリガを離してもスイッチは入ったままになります。この場合、再度トリガを引くと、ストッパーボタンがはずれてスイッチは切れません。連続ご使用の場合はこのストッパーボタンをご利用ください。



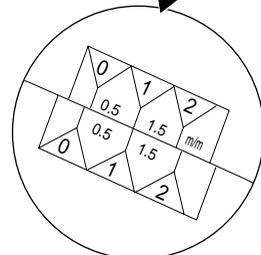
### 切込深さの調節

- ・ 切込深さの調節は、切込調節ツマミを回して行ないます。
- ・ 切込深さは、切込調節ツマミを回すことにより、0～2mmの範囲で調節が出来ます。



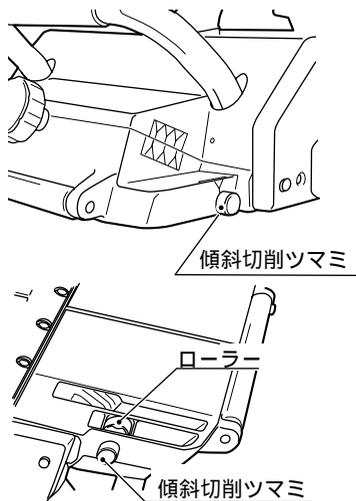
- ・ 切込深さ目盛は上下の目盛線が合った位置で表します。

(図の場合の切込深さは1mmです)



## 傾斜切削の調整

- 材料の左右の厚みが異なったり、斜めに仕上げるなど左右の切込深さを変えたい場合には傾斜切削をします。傾斜切削の調整は、傾斜切削ツマミを回し、ローラーを上下させて行ないます。
- 傾斜切削は、傾斜切削ツマミを目盛に合わせて回すことにより0.5 mm刻みに最大2 mmの範囲で調整出来ます。



## 替刃式カンナ刃の交換

### △ 警 告

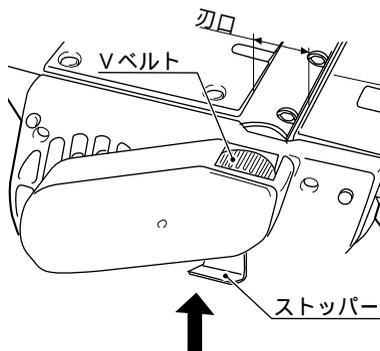
- 刃物の取付け、取外しの前に、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- 指定のカンナ刃をご使用ください。
- 刃物の取付けは、下記の指示に従って確実に取付けてください。確実にないと、はずれたり、けがの原因になります。
- カンナ刃取付け後は、ボックススパナを外し、カッターブロックがスムーズに回転する事を確認した後、スイッチを入れるようにしてください。

### △ 注 意

- カンナ刃の取扱いは、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。不用意に扱っていると、切り傷の原因になります。

### (カンナ刃の取外し)

- 切込深さ目盛を2 mmに合わせ刃口を広くします。
- ストッパーを押しながら、Vベルトを手で回し、カッター押え板が刃口にくる位置でロックします。



・ 付属品のボックススパナでカッター押え板を固定しているカッター締付ボルトをゆるめ、取外します。

・ カッター押え板、カッターホルダー、カンナ刃の順に取外します。もう一方のカンナ刃も同じ要領で取外してください。

### (カンナ刃の取付け)

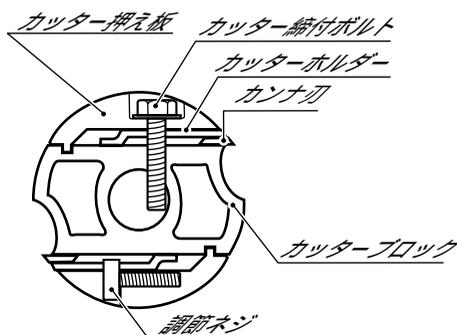
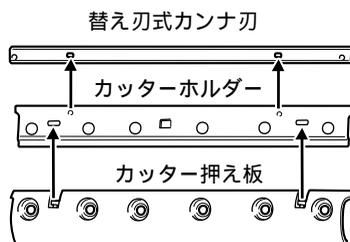
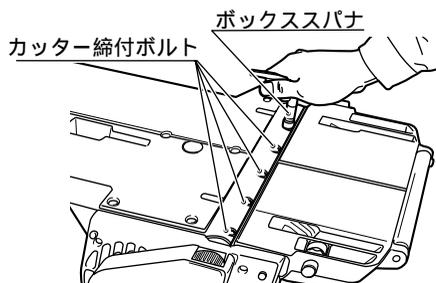
・ カンナ刃を取付ける場合は、カッターブロック及びカンナ刃の取付け面の木屑などを取除いてください。

・ カンナ刃の取付けは、次の要領で行なってください。

- 1) カッターブロックの刃物セット面が刃口にくる位置に合わせて、ストッパーでカッターブロックをロックします。
- 2) カッターブロックにカンナ刃をおきます。
- 3) カンナ刃の穴にカッターホルダーの2カ所の凸部を合わせます。
- 4) カッター押え板の調節ネジをカッターホルダーの角穴に合わせ、カッター締付ボルトの位置合わせをします。
- 5) カッター締付ボルトで固定します。
- 6) ストッパーを元に戻し、カッターブロックのロックを解除します。

(注) カンナ刃は、必ずセットで交換してください。1枚だけの交換をされますと、バランスが悪くなり、ビビリ(振動)の原因になることがあります。

(注) カンナ刃の交換をしたときは、スイッチを入れる前にVベルトを手で回し、カッターブロックを1回転以上させ、ロックが解除されていること、カンナ刃が周囲に接触しないでスムーズに回ることを確認してください。



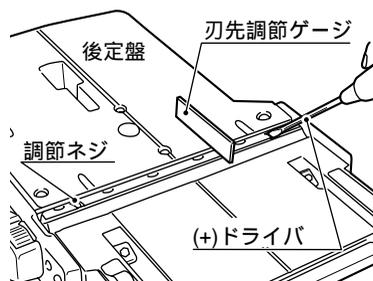
## (刃先高さの調節)

- ・ カンナ刃を交換した場合に刃先高さが狂い、送りが重くなったり、きれいな切削面が得られないことがあります。この場合には、次の要領で刃先高さを調節してください。

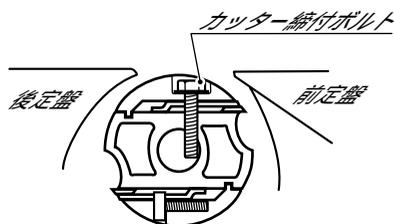
- 1) 安定した台の上に電気カンナを置き、ストッパーでカッターブロックをロックした後、本体をしっかり持って、ボックススパンでカッター締付ボルトをゆるめます。このとき、両端の2本のカッター締付ボルトは、カンナ刃がスライドする程度にし、ゆるめすぎないようにしてください。
- 2) カッターブロックのロックを一度解除し、刃先が刃口にくる位置で再度ロックします。
- 3) 刃先調節ゲージを後定盤にのせ、先端を前定盤に当たらない位置まで刃口上に出します。
- 4) 刃先高さの調節は、(+)ドライバーで2本の調節ネジを回して行ないます。調節ネジを右に回すと刃先は低く、左に回すと高くなります。カンナ刃の先端が軽く刃先調節ゲージに触れるように調節します。
- 5) 調節後は、再度ロック位置を変え、カッター締付ボルトをしっかり締付けてください。
- 6) ストッパーを元に戻し、カッターブロックのロックを解除します。

(注) 刃先調節の場合は、まず調節ネジを右に回して刃先を低くし、次に左に回しながら(刃先を出しながら)調節してください。

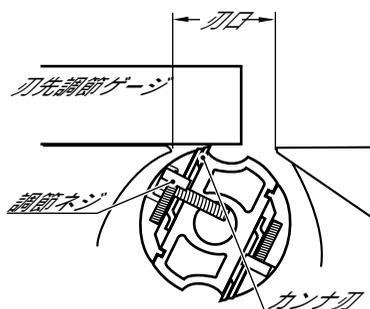
(注) 調節後は、スイッチを入れる前にVベルトを手で回し、ロックが解除されているか、またカンナ刃が周囲に接触していないか確認してください。



カッター締付ボルトの締付け、ゆるめ時のカッターブロック位置

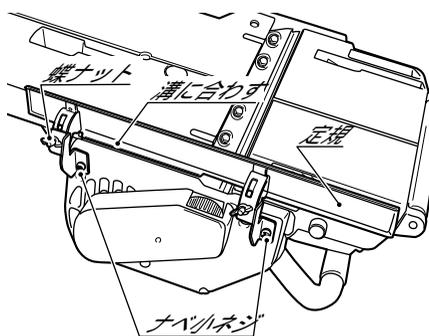


刃先高さ調節時のカッターブロック位置



## 定規について

- ・ 木材と平行に本機を送り、削り残しをなくしたい場合は、付属品の定規を取付けてご使用ください。
- ・ 定規の取付け方は、ベルトカバー横のナベ小ネジをはずし、定規を後定盤の溝に合わせて取付け、ナベ小ネジで締付けます。
- ・ 蝶ナットをゆるめることにより、定規の角度が変えられます。直角のでていない材料を加工する場合、材料の側面角に合わせてご使用ください。



## 電気カンナの使い方

### △ 警告

- ・ 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を越える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- ・ 使用中は、本体を確実に保持してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ・ 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。台が不安定ですと、けがの原因になります。
- ・ 材料を手にとっての切削はしないでください。カンナ刃に触れけがの原因になります。
- ・ 本体を万力などで保持して、カンナ刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。カンナ刃に手や体が触れ、思わぬけがの原因になります。
- ・ 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。回転しているカンナ刃に触れ、けがの原因になります。
- ・ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、または、リョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。そのまま使用していると、けがの原因になります。

## △ 注意

- ・ 使用中は、本体の底面に手や身体を近づけないでください。カンナ刃に触れ、けがの原因になります。
- ・ ベルトカバーの底面は、ベルトが覆われていないので、使用中、手などを近づけないでください。ベルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
- ・ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。けがの原因になります。

### 平面削り

- ・ カンナの刃先を加工材より2～3cm離れた位置に前定盤を当てスイッチを入れます。
- ・ 一定の回転になりましたら前定盤を加工材に水平に密着させて前に押し進め、後定盤が材料にのりましたら、後定盤を基準に切削します。

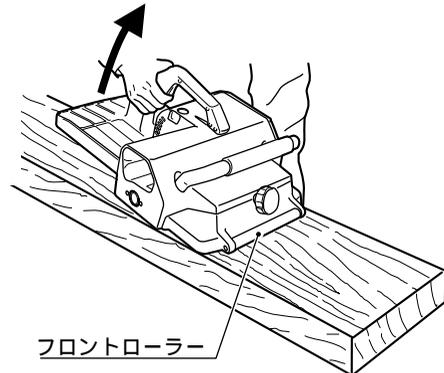


### (注) 削り始めと削り終わりの注意

- ・ 削り始めと削り終わりの時にカンナが傾くと木材の端を削りますから注意してください。

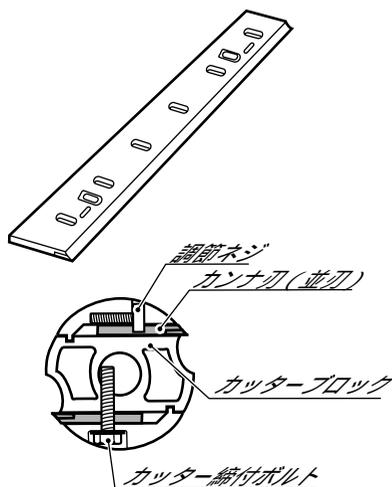
### フロントローラー

- ・ 同じところを何度も削る場合は、フロントローラーを使用すると便利です。
- ・ 木材を削り終わりましたら、カンナ刃が木材に接触しないように本機後部を持ち上げ、フロントローラーを木材表面にころがして引戻してください。



## カンナ刃（並刃）について （別販売品）

- ・ 本機用に研磨をして使用するカンナ刃（並刃）を別販売部品として用意しております。
- ・ 並刃の取付けは次のようにして行ないます。
  - 1) 替刃式カンナ刃を外します。
  - 2) カッターホルダー、替刃式カンナ刃の代わりに、並刃をカッターブロックにセットします。
  - 3) 取外し、取付け、刃先高さ調節の方法は替刃式カンナ刃と同様にして行ないます。（9～11ページ参照）



## 保守と点検

### △ 警告

- ・ 保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切り、プラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

### 各部取付けネジの点検

- ・ 各部を点検し、ビスなどのゆるみがないか、確認してください。ゆるみがある場合は締直してください。

### 使用後の手入れ

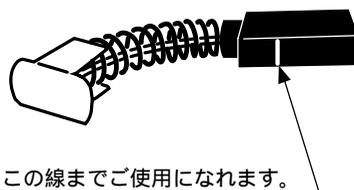
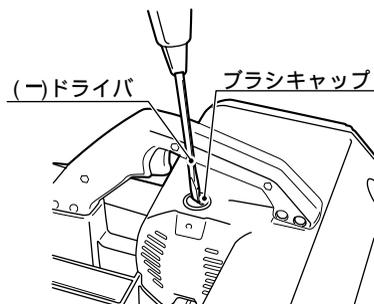
- ・ 使用後は切込み深さを0にして各部の切削粉をよく取除いて保管してください。
- ・ 油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。

### 作業後の保管

- ・ 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れがあるところはさけてください。

## カーボンブラシについて

- ・カーボンブラシが全長の1/3以下、即ちカーボンブラシの横の線まで短くなりましたら、新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのままご使用になりますと、モーター焼損の原因になります。
- ・カーボンブラシの交換は、( - ) ドライバでブラシキャップを外せば、簡単に行なえます。
- ・カーボンブラシは2個1セットです。交換されるときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。



## 修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、お買上げ販売店、または最寄りのリョービ販売営業所にお気軽にお問い合わせください。

改良のためお断りなく仕様・外観等を変更することがあります。

**RYOBI**

発売元

リョービ販売株式会社

製造元

リョービ株式会社